

# 京都市令和4年度当初予算（文化関係）

## 予算編成に当たっての考え方

（重点）

- ① 市民生活の安心安全
- ② 都市の成長戦略の推進
- ③ 財政構造改革

この3つの重点のもと、政府の経済対策と歩調を合わせ、令和3年度2月補正予算と一体的に編成

京都ならではの文化と経済の融合による好循環の創出や、  
「文化首都・京都」の魅力や都市格の更なる向上、  
暮らしと将来に夢と希望を持ち、豊かさが実感できるまちづくり

- ① **新規** 京都アート・エコシステム推進事業 1億2,000万円
- 次の取組等を複合的に組み合わせて有機的に連動・連携させながら、「京都アート・エコシステム」の形成につなげる。
- ・「Arts Aid KYOTO～京都市 連携・協働型文化芸術支援制度～」の推進  
京都の文化芸術を担うアーティスト等の活動について、個人・企業の寄付等を通じて社会全体で支え、持続可能な文化芸術の振興を図る「Arts Aid KYOTO」の取組を継続・強化する。
  - ・文化と経済の融合（アート×ビジネス）推進事業  
京都の多様な文化芸術の蓄積や創造力と、産業政策のスタートアップ支援等を融合した新たな取組として、京都芸術センターにおいて、芸術家と起業家等とのマッチングや、アートとビジネスの接点を探るセミナー等を企画・実施し、「アート×ビジネス」の化学反応を仕掛ける。
  - ・アート市場活性化事業  
若手芸術家の活動環境の向上とアート市場の活性化を図るため、アート作品を市民の身近なものにするためのオンライン販売サイトの構築や、若手芸術家の作品とアート市場をつなぐ取組等を進める。

- ②**新規** 文化庁移転記念事業をめぐる「ART WALK KYOTO」（仮称） 5,000万円  
 京都における公・民の文化事業を「文化庁移転記念事業」に位置づけるとともに、事業間の連携を図りながら、多くの人々に実際に足を運んで多種多様な文化事業（京都の文化力）に触れる機会を創出する。これにより、公・民一体となった文化芸術都市の活力・活気の醸成を図る。
- ③**継続** 京都文学賞・京都映画賞の実施 1,529万円  
 ・（京都文学賞）京都を題材とする小説を募集，表彰することにより，文学の振興，「文化都市・京都」の発信，京都の歴史と魅力の再認識等を目的に令和元年度に創設し，これまで3回実施している京都文学賞の運営方法の変更と内容の充実を図る。具体的には，広報・募集・選考期間の拡大により応募機会を増やし，応募作品の更なる量的・質的充実と丁寧な選考を実現するとともに，新たな賞の検討，受賞作品の市民周知及び出版化支援の充実を図るため，令和4・5年度の2箇年をかけて第4回を実施する。  
 ・（京都映画賞）京都が培ってきた映画文化の継承と更なる振興を図るとともに，京都での更なる映画製作につなげるため，京都ならではの新たな映画顕彰制度を創設
- ④**継続** 京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT） 4,600万円  
 「京都文化の〈現在〉を世界に発信する，新たな観光資源としての国際フェスティバルを目指す」ことを基本理念とし，国内外の先駆的な舞台芸術を紹介する世界的な芸術祭を開催する。
- ⑤**継続** Living History in 二条城 ～生きた歴史体感プログラム～ 800万円  
 歴史的な出来事や当時の生活，その時代の文化を体験できる「Living History～生きた歴史体感プログラム～」として，令和元年度から令和3年度の3箇年で開発した「寛永文化」，「大正大饗」，「大政奉還」の3つのプログラムを実施する。
- ⑥**充実** 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出 4,410万円  
 一流の芸術家を小・中学校等に派遣し，ワークショップ等を実施する「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」と，中学生を対象に，能楽堂等本格的な文化芸術の場で伝統芸能公演を鑑賞する「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」を一体的な取組として実施し，子どもたちが伝統的な文化芸術に触れる機会を創出する。  
 また，文化庁「伝統文化親子教室事業」を活用することで，放課後における子どもたちがほんものの文化芸術に触れられる機会を充実する。

⑦**継続** 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 1,445万円

福祉施設等が文化芸術の取組に着手する際の相談事業の実施，文化芸術と社会課題をつなぐコーディネーターの育成やモデル事業の実施など，文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ，共生社会を実現するための基盤づくりを実施

⑧**新規** 京の生活文化普及啓発事業～親子で学ぶ京料理・花街文化～3,000万円

京都で独自の発展を遂げてきた生活文化の更なる普及啓発を目的とし，その中でも「京の食文化」である「京料理」や，昔からの和装等の文化が色濃く残る「京都の花街文化」を取り上げ，生活文化の次世代への継承を図る。

⑨**継続** 京都芸大移転整備事業 123億9,685万円

建学以来140年にわたり，国内外の芸術界や産業界で活躍する人々を輩出し，文化芸術の発展に貢献してきた京都市立芸術大学を，京都の玄関口である京都駅東部エリアへ移転整備し，世界に冠たる芸術大学としてより一層の飛躍を果たすとともに，京都駅東部エリアに「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生する。

⑩**継続** コンテンツ産業推進事業 6,700万円

次の取組等を通じ，京都の有する地域資源・産業集積を活かした，新たなビジネス創出や次代のコンテンツ産業を支える人材の育成により，京都ならではのコンテンツ産業を創出し，京都経済の活性化に寄与する。

- ・京都国際マンガ・アニメフェアの開催
- ・KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience) の開催
- ・京都国際マンガ・アニメ大賞の実施
- ・MANGAナショナル・センター（仮称）誘致推進事業
- ・京都コンテンツ産業基盤の構築

⑪**新規** コンテンツクリエイション京都エコシステム基盤構築事業 1,000万円

コンテンツ関連大学等が多いことや，これまで京都国際マンガ・アニメフェア等で築き上げてきた首都圏企業との繋がりを活かして，企業誘致や市内事業者のコンテンツ活用による，文化としての「コンテンツの定着」と，企画・政策・発信までを一貫して行える京都ならではの「コンテンツエコシステム」の基盤構築を図ることによって，マンガ・アニメ・ゲーム・CGといった文化を活用した経済の好循環の創出を目指す。